

# 2023年5月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年10月4日

上場会社名 キャリアバンク株式会社  
 コード番号 4834 URL <https://www.career-bank.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 良雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理財務部長兼経営管理部長 (氏名) 橋本 正太

上場取引所 札

TEL 011-251-3373

四半期報告書提出予定日 2022年10月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年5月期第1四半期の連結業績(2022年6月1日～2022年8月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期第1四半期	1,691	2.5	24	61.3	28	56.5	31	46.5
2022年5月期第1四半期	1,735	33.7	63		64		58	

(注) 包括利益 2023年5月期第1四半期 32百万円 ( 41.7%) 2022年5月期第1四半期 54百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年5月期第1四半期	31.60	
2022年5月期第1四半期	59.04	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年5月期第1四半期	3,660	1,662	27.6	1,017.03
2022年5月期	3,924	1,656	25.0	987.97

(参考) 自己資本 2023年5月期第1四半期 1,009百万円 2022年5月期 981百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年5月期		0.00		13.00	13.00
2023年5月期					
2023年5月期(予想)		0.00		14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年5月期の連結業績予想(2022年6月1日～2023年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,421	0.3	343	37.9	339	36.6	158	84.8	159.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年5月期1Q	993,000 株	2022年5月期	993,000 株
期末自己株式数	2023年5月期1Q	株	2022年5月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年5月期1Q	993,000 株	2022年5月期1Q	993,000 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、[添付資料]2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、経済・社会活動の正常化の動きがあるものの、ウクライナ情勢の長期化や原材料価格の高騰による物価上昇など、不透明な状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループは、新型コロナウイルス感染症拡大の対策を実施しつつ、企業と人材を繋ぐ役割と機能を果たし、質の高い人材サービスの提供を通じて、双方が求めるニーズに応じてまいりました。

人材派遣関連事業においては、前年同期に計上した新型コロナウイルス感染症のワクチン接種に係る売上高が減少したことから、売上高及びセグメント利益が前年同期を下回りました。人材派遣関連事業（関東）においては、新型コロナウイルス感染症の影響によるイベント及び推奨販売等の対面で行う業務の回復が予想より遅れており、売上高及びセグメント利益が前年同期を下回りました。人材紹介事業においては、人材の流動化による求人ニーズへ迅速に対応したことで成約数が伸びたことにより、売上高及びセグメント利益が前年同期を上回りました。再就職支援事業においては、受託事業が増加したことにより、売上高及びセグメント利益が前年同期を上回りました。BPO事業においては、給与計算処理人数及び住民税年度更新業務の処理人数が増加したことにより、売上高は前年同期を上回りました。セグメント利益については、オペレーション部門強化に伴う労務費増加及び設備投資に伴う減価償却費増加により前年同期を下回りました。日本語学校運営事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響による入国制限が解除されたことに伴い、留学許可が出ている入国待ちの生徒を含め、新規の留学生が入学出来る状況となったため、売上高が前年同期を上回りました。その他事業は、ソフトウェア・ハードウェア開発事業が加わったことにより、売上高及びセグメント利益が前年同期を上回りました。なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの名称を変更しており、従来の「ペイロール事業」を「BPO事業」に変更しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における経営成績は、売上高1,691,216千円（前年同期比2.5%減）、営業利益24,637千円（前年同期比61.3%減）、経常利益28,077千円（前年同期比56.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益31,382千円（前年同期比46.5%減）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

#### （資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べ266,129千円減少し、2,847,032千円となりました。これは主に未払費用及び未払消費税等の減少並びに売掛金及び契約資産の増加に伴う現金及び預金の減少651,790千円と売掛金及び契約資産の増加364,225千円との差額等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1,479千円増加し、813,219千円となりました。これは主に投資その他の資産の増加13,921千円と減価償却による有形及び無形固定資産の減少との差額等によるものであります。

この結果、総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ264,649千円増加し、3,660,252千円となりました。

#### （負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べ264,518千円減少し、1,468,050千円となりました。これは主に未払費用及び未払消費税等の減少によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ6,012千円減少し、529,978千円となりました。これは主に長期借入金の減少によるものであります。

この結果、負債につきましては、前連結会計年度末に比べ270,530千円減少し、1,998,029千円となりました。

#### （純資産）

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ5,881千円増加し、1,662,223千円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加18,473千円及び評価・換算差額等の増加と非支配株主持分の減少22,979千円との差額等によるものであります。

### （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年7月15日に発表いたしました2023年5月期（2022年6月1日から2023年5月31日）の業績予想に関しまして、変更はありません。

また、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,193,968	1,542,178
売掛金及び契約資産	742,401	1,106,626
その他	177,214	198,508
貸倒引当金	△422	△280
流動資産合計	3,113,162	2,847,032
固定資産		
有形固定資産	199,891	193,069
無形固定資産		
のれん	107,181	102,966
その他	232,053	230,647
無形固定資産合計	339,234	333,614
投資その他の資産	272,613	286,535
固定資産合計	811,739	813,219
資産合計	3,924,902	3,660,252
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	82,063	97,665
短期借入金	600,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	35,805	36,449
1年内償還予定の社債	14,000	14,000
未払費用	398,605	320,266
未払法人税等	79,806	45,992
未払消費税等	202,383	140,766
賞与引当金	—	23,888
その他	319,905	189,022
流動負債合計	1,732,569	1,468,050
固定負債		
長期借入金	516,153	507,671
その他	19,837	22,307
固定負債合計	535,990	529,978
負債合計	2,268,559	1,998,029
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	256,240	256,240
資本剰余金	104,184	104,184
利益剰余金	559,368	577,842
株主資本合計	919,793	938,267
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,377	51,438
為替換算調整勘定	13,882	20,208
その他の包括利益累計額合計	61,260	71,646
非支配株主持分	675,287	652,308
純資産合計	1,656,342	1,662,223
負債純資産合計	3,924,902	3,660,252

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)
売上高	1,735,063	1,691,216
売上原価	1,384,194	1,329,467
売上総利益	350,868	361,749
販売費及び一般管理費	287,211	337,111
営業利益	63,657	24,637
営業外収益		
受取賃貸料	2,121	2,094
受取配当金	1,304	1,344
助成金収入	444	1,523
その他	766	1,824
営業外収益合計	4,636	6,786
営業外費用		
支払利息	1,525	1,219
賃貸費用	2,121	2,094
その他	159	33
営業外費用合計	3,805	3,347
経常利益	64,488	28,077
特別利益		
新型コロナウイルス感染症による助成金収入	658	—
特別利益合計	658	—
税金等調整前四半期純利益	65,146	28,077
法人税等	17,823	15,652
四半期純利益	47,323	12,424
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△11,302	△18,957
親会社株主に帰属する四半期純利益	58,625	31,382

（四半期連結包括利益計算書）  
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2021年6月1日 至 2021年8月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2022年6月1日 至 2022年8月31日）
四半期純利益	47,323	12,424
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,013	4,947
為替換算調整勘定	2,598	14,644
その他の包括利益合計	7,611	19,591
四半期包括利益	54,934	32,016
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	41,698	3,853
非支配株主に係る四半期包括利益	13,236	28,162

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第1四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。